

竹中伸行会長に聞く

SDGsや脱炭素化の流れを受け金属リサイクルに追い風が吹く。しかし日本国内に目を向けると慢性化する発生薄や資源高による仕入れ単価の上昇で運転資金が増加するなどの課題に直面する。コロナ禍で会長に就任して今年度2期目を迎えた北陸非鉄金属リサイクル商工業会の竹中伸行会長（竹中製作所社長）に取り組みや課題などを聞いた。

——会長就任からの2年間を振り返って。
「コロナ禍での会長就任で、初年度は会員の皆さまと顔を合わせることがほとんどなかった。行動制限が徐々に緩和されてきた2年目の機会がほとんどなかった。組合活動もできなかった。行動制限が徐々に緩和されてきた2年目の機会がほとんどなかった。」



業界の追い風を好機に

「今年4月の総会・懇親会は開催できたが、恒例の温泉総会は見送った。6月4日に全連（非鉄金属リサイクル全国連合会）の北陸地区での総会を控えていたこともあり、宿泊を伴う総会は一回にとどめた方が良く判断した。ゴルフコンペは今年例年通り春（開催済み）と秋の2回開催したい。来期に再開したい。来期に開催したい。来期に開催したい。」

「全連の懇親会は3年ぶりだが、対面での総会は4年ぶりだった。コロナ禍で資源価格が上昇傾向にあった。コロナ禍で資源価格が上昇傾向にあった。」

「業界が抱える課題は何か。」「コロナ禍で資源価格が上昇傾向にあった。」

「追いかけていない。」「追いかけていない。」「追いかけていない。」

「現状はそれほど悪い環境ではない。」「現状はそれほど悪い環境ではない。」「現状はそれほど悪い環境ではない。」

「増田 正則」

「今年4月の総会・懇親会は開催できたが、恒例の温泉総会は見送った。6月4日に全連（非鉄金属リサイクル全国連合会）の北陸地区での総会を控えていたこともあり、宿泊を伴う総会は一回にとどめた方が良く判断した。ゴルフコンペは今年例年通り春（開催済み）と秋の2回開催したい。来期に再開したい。来期に開催したい。」

「今年に入りロシアがウクライナに侵攻したことや海外との金利差が拡大している。国内の非鉄金属価格の上昇が続いている。さらなる上昇の懸念がある。荷が難しい。価格高騰で仕入れのためのキャッシュ確保にも苦労している。富山地区に限った話であれば、工場稼働率は少ないが余力のあるうちに廃業する会社が多い。」

「世界的にリサイクル業界に追い風が吹いている。」「追いかけていない。」「追いかけていない。」

「現状はそれほど悪い環境ではない。しかし今後は原料やエネルギーの値上がりなどで景気に悪い影響が出てくることを懸念している。ウクライナ情勢の長期化も懸念材料だ。建材関係では木材を含めていろいろな材料が高騰しており様子見から新築着工件数が減少している。これらが他の産業にも影響を与えるかもしれない。先行きは不透明だ。」（増田 正則）